

日本発、世界でもっとも豪華なバレエの祭典。3年に一度のバレエの五輪！



第15回

世界バレエ フェスティバル

THE 15TH WORLD BALLET FESTIVAL 2018

Presented by  KOSÉ



世界のトップダンサーが東京に集結。
バレエ・ファンが狂喜する、熱い夏がやってくる！

A-program

8/1(水) ▶ 8/5(日)

B-program

8/8(水) ▶ 8/12(日)

会場：東京文化会館(上野)

バレエ・オペラは

NBS



第15回

世界バレエフェスティバル

THE 15TH WORLD BALLET FESTIVAL 2018

Presented by  KOSÉ

A Program		B Program		指揮:ワレリー・オブジャニコフ ロベルタス・セルヴェニカス 演奏:東京フィルハーモニー交響楽団
8月1日(水) 18:00	■入場料(税込) S=¥26,000	8月8日(水) 18:00	■入場料(税込) S=¥26,000	
8月2日(木) 18:00	A=¥23,000	8月9日(木) 18:00	A=¥23,000	
8月3日(金) 18:00	B=¥20,000	8月10日(金) 14:00	B=¥20,000	
8月4日(土) 14:00	C=¥16,000	8月11日(土・祝) 14:00	C=¥16,000	
8月5日(日) 14:00	D=¥12,000	8月12日(日) 14:00	D=¥12,000	
	E=¥8,000		E=¥8,000	
会場:東京文化会館(上野)				

チケットご購入の前に必ずお読みください。

表記の出演者と演目は2018年2月20日現在の予定です。出演者の怪我や病気、その他の都合で出演が不可能になったり演目に変更になる場合があります。出演者及び演目変更にもなうチケットの払い戻し、公演日・券種の変更はお受けできません。最終出演者及び演目の発表は公演当日とさせていただきます。未就学児童のご入場はお断りします。

全幕特別プロ+Aプロ+Bプロ

2演目・3演目セット券[S~C]

NBS WEB チケット先行発売 [NBSのみで取り扱い]

3演目セット券先行期間:3/27(火)21:00~4/2(月)18:00
2演目セット券先行期間:3/30(金)21:00~4/2(月)18:00

先着期間中のみ
1枚につき
**1000円
早得!**

全幕特別プロ「ドン・キホーテ」とAプロ、Bプロの2演目または3演目を、先行期間中に同時に同一枚数お買い上げいただくと、チケット1枚につき1,000円を割引します。S、A、B、C席を対象とし、公演日および席種は自由にお選びいただけます。

第15回世界バレエフェスティバル全幕特別プロ「ドン・キホーテ」

7/27(金)19:00 主演ミリアム・ウルド=ブラーム&マチアス・エイマン、7/28(土)14:00 主演:アリーナ・コジョカル&セザール・コラレス

会場:東京文化会館 S=¥16,000、A=¥14,000、B=¥12,000、C=¥9,000、D=¥6,000、E=¥4,000 ※公演詳細はチラシ、NBS ホームページ等をご参照ください。

単独券

- NBS WEB チケット先行発売[S~D]
4/4(水)21:00~4/7(土)18:00
- 一斉発売 4月14日(土)10:00より

コーサーU29シート ¥4,000 NBS WEB チケットのみで6/22(金)より発売。

満29歳までの方を対象に、Aプロ、Bプロ毎公演、「C席」相当の席を「コーサー U29シート」として30席、計300席をご用意します。座席はご指定いただけません。チケットは公演当日のお受け取りとなります。公演当日、年齢を確認できる身分証を携行ください。

NBS WEB チケット

NBS



※ご利用いただく際には、事前に会員登録(登録料・年会費無料)が必要となります。

NBS チケットセンター 03-3791-8888

(平日 10:00 ~ 18:00、土曜 10:00 ~ 13:00)

[NBS 以外の前売所]

- e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (PC&携帯)
※座席選択先行受付 4/9(月)~4/12(木)
- チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:484-954)
<http://pia.jp/t/> (PC&携帯)
※プリセール 4/9(月)~4/12(木)

- ローソンチケット 0570-000-407(10時~20時) (Lコード:31594)
※先行受付 4/9(月)~4/12(木)
<http://l-tike.com/> (PC&携帯)
- 東京文化会館 チケットサービス 03-5685-0650

主催:公益財団法人日本舞台芸術振興会
共催:日本経済新聞社/東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
特別協賛:株式会社コーサー
後援:各国大使館

Facebook 日本舞台芸術振興会
Twitter NBS_ballet

バレエ・オペラは
NBS

予定される女性舞踊手

マリーヤ・アレクサンドロワ
(ボリショイバレエ)
Maria Alexandrova
シルヴィア・アッツオーニ
(ハンブルクバレエ団)
Silvia Azzoni

初 エリサ・バデネス
(シュツットガルトバレエ団)
Elisa Badenes

初 レオノール・ボラック
(ハリ・オペラ座バレエ団)
Leonore Baulac

アリーナ・コジョカル
(イングリッシュ・ナショナルバレエ)
Alina Cojocar

オレリー・デュボン
Aプロのみ(ハリ・オペラ座バレエ団)
Aurélie Dupont

マリア・アイシュヴァルト
(元シュツットガルトバレエ団)
Maria Eichwald

初 ドロテ・ジルベール
(ハリ・オペラ座バレエ団)
Dorothee Gilbert

マリア・コチェトコワ
(サンフランシスコバレエ団)

サラ・ラム
(英国ロイヤルバレエ団)
Sarah Lamb

アンナ・ラウデール
(ハンブルクバレエ団)
Anna Laudere

初 ミリアム=ウルド・ブラーム
(ハリ・オペラ座バレエ団)
Myriam Ould-Braham

タマラ・ロホ
(イングリッシュ・ナショナルバレエ)
Tamara Rojo

ヤーナ・サレンコ
Aプロのみ(ベルリン国立バレエ団)
Iana Salenko

ポリーナ・セミオノワ
(ベルリン国立バレエ団)
Polina Semionova



第1回 1976



第2回 1979



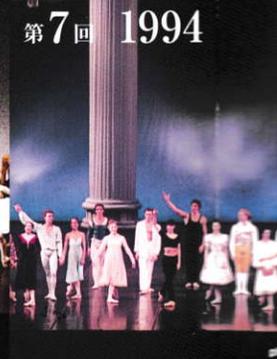
第5回 1988



第6回 1991



第7回 1994



第10回 2003



第11回 2006



第12回 2009



会場はつねに、熱狂と 東京を世界最大のバレエ国際都市

世界で活躍するトップダンサーたちが3年に1度東京に集う〈世界バレエフェスティバル〉は、その伝統と実績、規模において、世界最高のバレエ・ガラとして国際的に名を馳せています。

42年前、〈世界バレエフェスティバル〉が初めて開催された1976年当時、有名バレエ団のスターが国や所属バレエ団を超えて一堂に会するのは稀なことでした。英国のマーゴ・フォンティーン、ロシアのマイヤ・プリセツカヤ、キューバのアリシア・アロンソという3大プリマが同じ舞台に立つ。そのこと自体が衝撃として大き

なニュースになったのです。

その後ジョルジュ・ドン、パトリック・デュボン、シルヴィ・ギエム、アレクサンドラ・フェリ、マニュエル・ルグリ、ウラジーミル・マラーホフといった新たなスターたちが加わり、〈世界バレエフェスティバル〉は開催のたび熱狂と興奮のつぼと化しました。並み居るスターたちを前にして、彼らの演技を比較しようと高まる観客の期待。スターたちはその空気を受けて競争心を燃やし、最大限の魅力をアピールできるようにパフォーマンスのボルテージをあげる。この好循環

このほか、モーリス・ベジャールバレエ団より参加予定です。

Dancers are listed in Alphabetical order.
※表記の出演者は2018年2月20日現在の予定です。今後やむを得ない事情により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。最新の情報はNBSホームページでご確認ください。

THE 15TH WORLD BALLET FESTIVAL



第3回 1982



photo:Seichi Hasegawa

photo:Seichi Hasegawa

第4回 1985



photo:Kyū Yosaijawa

第8回 1997



photo:Kiyonori Hasegawa

photo:Kiyonori Hasegawa

第9回 2000



photo:Kiyonori Hasegawa

第13回 2012



photo:Kiyonori Hasegawa

photo:Kiyonori Hasegawa

第14回 2015



photo:Kiyonori Hasegawa

熱狂と興奮のるつぼ。 都市へののし上げたフェスティバル。

環で、〈世界バレエフェスティバル〉は最高峰のスターたちが誇りと意地をかけて至芸を競い、伝説を築き上げる舞台となったのです。

また、各国トップのバレエ団の代表でもある出演者たちは、さまざまな芸術的背景をもち、彼らが披露するバラエティに富んだ作品やスタイルが、そのまま国際的なバレエの縮図として見えてきます。〈世界バレエフェスティバル〉を観れば、バレエ界の“いま”が肌でわかるのです。

〈世界バレエフェスティバル〉は、その時々にもっとも輝きを放っている旬のスター、30～40

名を選んで開催してきました。いまでは類似の催しが珍しくありませんが、クオリティとボルテージの高さにおいて他の追従を許しません。

バレエは、極限まで鍛えぬかれた肉体と精神が、高い表現力をともなって感動をもたらす芸術です。舞台上で発露されるのはまばゆいばかりの生命の輝き。その最高の瞬間の連続を体験できるのが〈世界バレエフェスティバル〉なのです。

※写真は、前回の公演会場ロビーの飾り付けより

予定される男性舞踊手

ロベルト・ボッレ

(ミラノ・スカラ座バレエ団/アメリカン・バレエ・シアター)

Roberto Bolle

フェデリコ・ボネッリ

(英国ロイヤル・バレエ団)

Federico Bonelli

ダニエル・カマルゴ **初**

(オランダ国立バレエ団)

Daniel Camargo

セザール・コラレス **初**

Bプロのみ(イングリッシュ・ナショナル・バレエ)

Cesar Corrales

マチュー・ガニオ

(ハリ・オペラ座バレエ団)

Mathieu Ganio

デヴィッド・ホールバーグ **初**

(アメリカン・バレエ・シアター)

David Hallberg

イサック・エルナンデス **初**

(イングリッシュ・ナショナル・バレエ)

Isaac Hernandez

マチアス・エイマン

(ハリ・オペラ座バレエ団)

Mathias Heymann

ヨハン・コボー

ヴラディ斯拉フ・ラントラートフ

(ボリショイ・バレエ)

Vladislav Lantoratov

ジェルマン・ルーヴェ **初**

(ハリ・オペラ座バレエ団)

Germain Louvet

スティーヴン・マックレー

Aプロのみ(英国ロイヤル・バレエ団)

Steven McRae

マライン・ラドメーカー

(オランダ国立バレエ団)

Marijn Rademaker

エドウィン・レヴァツォフ

(ハンブルク・バレエ団)

Edvin Revazov

アレクサンドル・リアブコ

(ハンブルク・バレエ団)

Alexandre Riabko

レオニード・サラファーノフ

(ミハイロフスキー・バレエ団)

Leonid Sarafanov

ダニール・シムキン

(アメリカン・バレエ・シアター)

Daniil Simkin

フリーデマン・フォーゲル

(シュワットガルト・バレエ団)

Friedemann Vogel

